

# 令和7年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和8年3月31日現在)

氏名 小松崎 明

学位 博士(歯学)

## 1. 研究テーマ

(和文名)

- ・口腔保健関連行動が健康に及ぼす影響に関する研究
- ・地域歯科保健活動の効果的実施方法の開発及び評価に関する研究

(英文名)

- ・ Study of health in general influencing oral health behavior
- ・ The evaluation of the community-based oral health care program for prevention effectiveness

## 2. 今年度の研究計画

大規模国家統計匿名データベースを用いた multimorbidity に関する検討、新潟県内の地域保健データを活用した QOL に関する要因分析、オーラルフレイルの予防に関する基礎的研究を遂行し成果を報告する予定である

## 3. 対外的活動(学外講義・学会活動など)

### 1) 他大学・短期大学での講義

併任する日本歯科大学新潟生命歯学部衛生学講座の担当講義

### 2) 学会活動(監事、理事、評議員、査読他の委員、学会大会長など)

日本口腔衛生学会：監事、代議員、認定・専門・指導医委員会委員、  
第74回日本口腔衛生学会学術大会(新潟・朱鷺メッセ 5/16-18)：大会長  
令和7年度甲信越北陸口腔保健研究会：幹事、第36回甲信越北陸口腔保健研究会総会・学術大会(万代島ビル 5/17)：大会長

日本歯科医療管理学会：理事

日本芸術療法学会：評議員

### 3) 公的な委員会等(国家試験委員、行政委員、表彰・認定審査委員など)

厚生労働省医道審議会専門委員会委員

厚生労働省歯科医師試験委員

歯科医療振興財団第35回歯科衛生士国家試験試験委員

新潟県歯科保健推進会議委員

新潟県歯科医師会学校歯科ハンドブック編集委員

新潟県よい歯の学校・園運動審査委員会委員

4 研究業績

A 著書（書籍・教科書・翻訳等）

B 原著

Seino K, \*Komatsuzaki A, Mitomi K, Susuga M, Ono S, Enoki Y. Systemic and Oral Factors Relating to Stress in Later Life: A Study Using the Japanese National Statistics Database. ☆◎◇Clin. Pract. 2025; 15: 226 (17 pages). doi : 10.3390/clinpract15120226.

C 総説・解説（報告書・ガイドライン等）

歯科界の潮流 日本の歯科を支える3職種連携基盤の構築 —日本歯科大学新潟短期大学が検討するべき歯学教育百年の計—。歯学（秋季特集号）。2025; 113: 7-9.

D 報告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀要

学校歯科ハンドブック。令和7年3月。新潟県歯科医師会地域保健部編集。2025.

お口の健康コラム 新発田市成人歯科健診を受けましょう！。街角こんばす 9月号。2025; 262: 12.、11月号。2025; 264: 12.

第74回日本口腔衛生学会学術大会記録。口腔衛生会誌。75.180-182.2025.

E 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

・小野幸絵, 小松崎 明, 煤賀美緒, 加藤千景, 小松崎 成, 鴨田剛司. 全身および口腔症状の QOL に対する影響について. 第74回日本口腔衛生学会学術大会, 新潟市, 2025年5月16~18日

・小林彩乃, 小松崎 明, 小野幸絵, 鴨田剛司, 池田裕子, 松田知子. 地域茶の間でのオーラルフレイル予防講座の取り組み. 第74回日本口腔衛生学会学術大会, 新潟市, 2025年5月16~18日

・浅川明璃, 貝沼花音, 小松崎 明. 咀嚼による頬部の発熱量測定方法の検討. 第74回日本口腔衛生学会学術大会, 新潟市, 2025年5月16~18日

・八木 南, 押木千恵, 長島節志, 山崎太亮, 河内康之, 小松崎 明, 鴨田剛司, 小野幸絵. 新潟県新発田市における成人歯科健診結果の推移分析 —現在歯数のパーセンタイル曲線の変化—. 令和7年度甲信越北陸口腔保健研究会第36回総会・学術大会, 新潟市, 2025年5月17日

・小松崎 明, 小野幸絵, 加藤千景, 三富加奈子, 高塩智子, 井口麻美, 清野

可奈子, 榎 志佳, 嵐 聖芽, 土田智子. 全身と口腔症状の関連性について: 2019 年国民生活基礎調査匿名データからの考察. 令和 7 年度日本歯科大学歯学会大会, 東京, 2025 年 6 月 7 日

・小松崎 明, 三富加奈子, 関口博一. チタン鑄造冠および CAD/CAM 冠の保険算定回数の二次医療圏単位での比較. 日本歯科技工学会第 47 回学術大会 2025 年度東海・北信越支部学術大会 (併催), 名古屋市, 2025 年 11 月 23, 24 日

・小松崎 明, 小野幸絵, 小松崎 成. 側面自画像による醜形恐怖のスクリーニングの試み. 第 56 回日本芸術療法学会学術大会, 東京, 2025 年 12 月 20, 21 日

・齋藤諭里, 小松崎 明, 清野可那子. ストレスに関連する口腔および全身的要因の探索的研究 - 2019 年度国民生活基礎調査匿名データを用いた分析 -. 第 57 回歯科保健研究会, 新潟市, 2026 年 2 月 18 日

#### F 特別講演・シンポジウム等での講演

#### G その他 (学会賞等の受賞、学会認定・資格の取得、科研費ほか競争的研究費等)

日本芸術療法学会: 芸術療法士 (2026 年 3 月 2 日取得)

全国歯科衛生士教育協議会 2025 年度歯科衛生士専任教員講習会Ⅲ, 教育講演: 健康社会学・口腔衛生学, 新潟市, 2025 年 8 月 19 日.

日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), (継続), 2023~2025 年度, セルフ唾液腺マッサージの効果を評価する赤外線サーモグラフィー熱画像指標の開発, 小松崎 明(代表)

# 令和7年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和8年3月31日現在)

氏 名 浅沼直樹

学 位 歯学博士

## 1. 研究テーマ

### 1) 有床義歯の咬合構成に関する研究

Study on construction of occlusion on removable denture

### 2) 有床義歯装着者の口腔機能に関する研究

Study on oral function of denture wearer

### 3) スポーツマウスガードの製作基準の検討

Examination of standard fabrication method for sports mouthguard

## 2. 今年度の研究計画

口腔内スキャナーを用いた咬合採得において対合歯の欠損状態が制度に及ぼす影響を測定し、日常臨床で有効な口腔内スキャナーの使用法を検討する。

スポーツマウスガードの製作にあたり使用する印象材、印象法、マウスガードの外形線、厚みと言った基準を明確にするために、各種条件によるマウスガードの製作による適合精度を測定し検討する。

## 3. 対外的活動（学外講義・学会活動など）

### 1) 他大学・短期大学での講義

### 2) 学会活動（監事、理事、評議員、査読他の委員、学会大会長など）

1. 日本歯科医学教育学会代議員
2. 日本補綴歯科学会関越支部 理事
3. 日本全身咬合学会 理事
4. 日本口腔保健学雑誌査読委員
5. 新潟口腔ケア研究会世話人

### 3) 公的な委員会等（国家試験委員、行政委員、表彰・認定審査委員など）

1. 新潟市介護認定審査会委員
2. 一般財団法人大学・短期大学基準協会 認証評価連絡調整責任者
3. 一般財団法人大学・短期大学基準協会 認証評価審査員
4. 高等教育コンソーシアムにいがた 教育連携部会委員

#### 4 研究業績

##### A 著書（書籍・教科書・翻訳等）

##### B 原著

##### C 総説・解説（報告書・ガイドライン等）

##### D 報告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀要

1. 浅沼直樹：歯科技工学科が仲間に加わりました，雪つばきだより，15, 2, 2025
2. 浅沼直樹：新潟短期大学・歯科技工学科開設，日本歯科大学校友会・歯学会会報，51, 2-3, 2025.
3. 浅沼直樹：新潟短期大学に歯科技工学科が開設しました，IVY NEWS LETTERS, 55, 4-5, 2025.
4. 浅沼直樹：新潟短期大学歯科技工学科の教育について，歯学，113, 15-17, 2025.

##### E 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

1. 永田琴乃，浅沼直樹，渡會侑子，鈴木達大，川名桃香，新妻智憲，水橋史：対合歯の欠損状態が口腔内スキャナーを用いた咬合採得の精度に与える影響，公益社団法人日本補綴歯科学会第134回学術大会，長崎市，2025年5月17日．
2. 川名桃香，浅沼直樹，渡會侑子，鈴木達大，永田琴乃，新妻智憲，水橋史：全上顎無歯顎におけるランドマーク付与が口腔内スキャナーの印象精度に及ぼす影響，公益社団法人日本補綴歯科学会第134回学術大会，長崎市，2025年5月17日．
3. 渡會侑子，水橋史，浅沼直樹，鈴木達大，川名桃香，永田琴乃，新妻智憲：非接触型三次元形状計測装置を用いた瞳孔・口裂間距離の正面観と側面観の比較検討，公益社団法人日本補綴歯科学会第134回学術大会，長崎市，2025年5月17日．
4. 鈴木達大，浅沼直樹，渡會侑子，川名桃香，永田琴乃，新妻智憲，水橋史：習慣性咀嚼側および非習慣性咀嚼側における咀嚼能力と口腔周囲筋の関係，公益社団法人日本補綴歯科学会第134回学術大会，長崎市，2025年5月17日．
5. 両角祐子，宮崎晶子，土田智子，浅沼直樹，佐藤聡，小松崎明，中原賢：協同学習を用いた多職種連携教育の取り組み，第44回日本歯科教育

学会総会および学術大会，浦安市，2025年8月30日．

6. 鈴木達大，浅沼直樹，渡會侑子，川名桃香，永田琴乃，新妻智憲，水橋史：習慣性咀嚼側および非習慣性咀嚼側における Spee 彎曲の深さと咀嚼能力との関係，令和7年度公益社団法人日本補綴歯科学会関越支部学術大会・総会，高崎市，2025年11月30日．

7. 吉村 建，土田智子，三上正人，山際伸一，浅沼直樹：LED 励起による S. mutans 標準株コロニーモデルの傾向検出に関する予備的研究，第57回歯科保健研究会，新潟市，2026年2月18日．

F 特別講演・シンポジウム等での講演

G その他（学会賞等の受賞、学会認定・資格の取得、科研費ほか競争的研究費等）

# 令和7年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和8年3月31日現在)

氏名 今井 あかね  
学位 博士(歯学)

## 1. 研究テーマおよび今年度の研究計画

- 1) 唾液中細胞外小胞の分離とプロテオーム解析 Isolation and proteome analysis of salivary extracellular vesicles
- 2) 口腔内環境安定化に対する海藻由来多糖体の影響について Effects of fucoidan on oral healthcare
- 3) ヒノキチオールによるカンジダ菌抑制メカニズムについて Candida inhibition mechanism by hinokitiol
- 4) 専攻研究指導 (3件) Guidance on major research (3 themes)

## 2. 対外的活動(学外講義・学会活動など)

- 1) 他大学での講義
  - (ア) 日本歯科大学新潟生命歯学部における講義(第2学年生化学, 第2学年生体機能調節学)
  - (イ) 日本歯科大学新潟生命歯学部における実習(第3学年分子生命科学実習)
  - (ウ) 明倫短期大学歯科衛生士学科における講義(生命現象の科学)
  - (エ) 日本歯科大学新潟生命歯学部大学院における共通授業(実習)
- 2) 学会活動(査読、理事、評議員など)
  - (ア) 日本唾液腺学会 理事
  - (イ) 歯科基礎医学会 代議委員
  - (ウ) 日本生化学会 評議委員
  - (エ) 日本歯科大学歯学会 評議委員
  - (オ) Odontology における査読 (4編)
  - (カ) 日本口腔保健学雑誌における査読 (2編)
  - (キ) 第57回歯科保健研究会 実行委員長
- 3) 公的な委員会等
  - (ア) 新潟市入札等評価委員会委員
  - (イ) 新潟市水道局入札等評価委員会委員
  - (ウ) 令和7年度特別研究員等審査会審査委員及び国際事業委員会書面審査

## 委員

### 3. 研究業績

#### A 著書

#### B 原著

1. 諸田都雅, 三輪陽菜多, \*今井あかね, ペットと暮らす人の歯周病原菌保菌状況について～イヌ飼育者とネコ飼育者の比較と接触における注意点～. ○◇日本口腔保健学雑誌. 2025; 15(1): 9 – 17. doi : 10.32303/jnohs.15.1\_9

#### C 総説・解説

1. 今井あかね, 年齢層による唾液細胞外小胞の特性. ◇日本唾液腺学会誌. 2025; 65: 34–45. doi : 10.60293/daekisen.65.0\_34

#### D 報告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀要

1. 小林彩乃, 今井あかね, 三上正人. デンタルフロスの保管条件で比較した *Porphyromonas gingivalis* の生存菌数. ○◇日本口腔保健学雑誌. 2025; 15: 32–35. doi : 10.32303/jnohs.15.1\_32

#### E 翻訳

#### F 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

1. Akane Imai, Haruka Yamaguchi-Takezawa, Shunya Oka. Salivary Exosome Purification and its Potential as a Clinical Specimen, 2025 IADR/PER General Session & Exhibition (Barcelona, Spain) スペイン・バルセロナ, 2025年6月25～28日
2. Shunya Oka, Takashi Kameda, Daisuke Torii, Takeo Tsutsui, Shuichi Tsubura, Akane Imai. Fucoidans Have Many Useful Properties for Oral Healthcare, 2025 IADR/PER General Session & Exhibition (Barcelona, Spain) スペイン・バルセロナ, 2025年6月25～28日
3. 福井佳代子, 原 基, 今井あかね, 二宮一智. ヒノキチオールの *Candida albicans* に対する抗真菌作用と既存の抗真菌薬との併用効果 第67回歯科基礎医学会学術大会 北九州市 2025年9月5～7日
4. 石川由和, 土田智子, 今井あかね. コーヒー飲用による口腔乾燥感と唾液の性状の関連性について, 第57回歯科保健研究会（口演）新潟市, 2026年2月18日
5. 清水莉子, 加藤千景, 池田裕子, 榎 志佳, 今井あかね. 口唇色が歯冠色の見え方に及ぼす影響, 第57回歯科保健研究会（口演）新潟市, 2026年2月18日

6. 清水 茜, 藤田浩美, 嵐 聖芽, 今井あかね. 歯磨剤の塩味によるブラッシングへの影響 第 57 回歯科保健研究会 (口演) 新潟市, 2026 年 2 月 18 日
7. 岡 俊哉, 亀田 剛, 螺良修一, 今井あかね. 口腔の健康維持に貢献する生体材料フコイダン 第 57 回歯科保健研究会 (口演) 新潟市, 2026 年 2 月 18 日

G 特別講演・シンポジウム等での講演

H その他

1. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 C, (継続), 2023-2025 年度, 健康寿命延伸のための口腔カンジダ症抑制方法の開発—漢方生薬ヒノキチオールに着目, 福井佳代子 (代表), 二宮一智, 今井あかね (分担), 原 基, 1300000 円
2. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 C, (継続), 2024-2026 年度, インプラントの長期安定を目指した新規標的受容体 TRPV1 による骨代謝調節法の開発, 辻村麻衣子 (代表), 中原 賢, 今井あかね (分担), 1430000 円

# 令和7年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和8年3月31日現在)

氏名 宮崎 晶子  
学位 博士(歯学)

## 1. 研究テーマ

### 1) 視知覚パターンを活用した教育法の確立

Establishment of educational method utilizing visual perception pattern

### 2) 歯間ブラシの挿入感と挿入圧に関する研究

Research on insertion feeling and insertion pressure of interdental brush

### 3) 歯科衛生士の倫理綱領に関する教育

Education regarding the code of ethics for dental hygienists

## 2. 今年度の研究計画

### 1) 視知覚パターンを活用した教育法の確立

『視知覚パターンを活用した教育法の確立～学習評価における眼球運動の軌跡解析～(令和4～6年度科研費 基盤研究C)』として3年から1年延長して研究をまとめ、第16回日本歯科衛生教育学会にてポスター発表を行った(2025年12月)。なお、2026年度中に日本歯科衛生教育学会雑誌に投稿予定である。

### 2) 歯間ブラシの挿入感と挿入圧に関する研究

歯科衛生士および歯科医師が適正サイズの歯間ブラシを用いた時の挿入圧を Forceplate と Haplog での測定結果の関連性を明らかにし、第69回日本歯周病学会秋季学術大会で発表を行う予定である(2026年10月2演題)。

### 3) 歯科衛生士の倫理綱領に関する教育

日本歯科衛生教育学会教育活動委員として、『歯科衛生士のための倫理綱領 事例集』を作成し、医歯薬出版(株)にて書籍として出版した(2025年11月)。倫理綱領に関する意識調査について第20回日本歯科衛生学会学術大会にてポスター発表を行った(2025年9月)。

### 3. 対外的活動（学外講義・学会活動など）

#### 1) 他大学・短期大学での講義

- (1) 新潟生命歯学部第1学年地域包括ケア学（1回）
- (2) 新潟市立日和山小学校
- (3) 新潟市立東特別支援学校
- (4) 新潟市立木山小学校

#### 2) 学会活動（監事、理事、評議員、査読他の委員、学会大会長など）

- (1) 北信越障害者歯科臨床研究会幹事
- (2) 日本歯科衛生教育学会 理事
- (3) 日本歯科衛生教育学会 評議員
- (4) 日本歯科衛生教育学会 研究倫理審査委員長
- (5) 日本口腔保健学会 査読委員
- (6) 甲信越北陸口腔保健研究会 幹事
- (7) 第22回日本口腔ケア学会 副大会長

#### 3) 公的な委員会等（国家試験委員、行政委員、表彰・認定審査委員など）

- (1) (一社)新潟県歯科衛生士会 専務理事
- (2) (一社)全国歯科衛生士教育協議会 理事
- (3) ISO TC 106/SC7 国際規格作成委員会 日本委員会  
WG1 分科会（手用歯ブラシ）  
WG2 分科会（電動口腔衛生用具）  
WG5 分科会（歯間ブラシ）
- (4) 日本歯科衛生教育学会 教育活動委員会 委員
- (5) 日本歯科衛生教育学会 研究倫理審査委員会 委員長
- (6) 新潟市介護認定審査委員

### 4 研究業績

#### A 著書（書籍・教科書・翻訳等）

- 1) 宮崎晶子（共著）：吉田直美，前田尚子，大宮由布子，小村照代，船奥律子，満足愛，宮崎晶子，安井真奈美，山村有希子：事例で学ぶ歯科衛生士の倫理綱領．第1版第1刷，医歯薬出版，東京，2025．ISBN 978-4-263-42339-4.
- 2) 宮崎晶子（共著）：船奥律子，吉田直美，宮崎晶子，石井実和子，畑山千賀子，有井真弓，原久美子，山田小枝子，照井美幸：よくわかる歯科衛生過程．第1版第12刷，医歯薬出版，東京，2026．ISBN 978-4-263-42205-2.
- 3) 宮崎晶子（分担）：4章ワークで学ぶ歯科衛生過程．吉田直美，石井実和子，

- 有井真弓, 船奥律子, 宮崎晶子: 事例でわかる歯科衛生過程, 第1版第3刷, 医歯薬出版, 東京, 2026. 91-104. ISBN 978-4-263-42258-8.
- 4) 宮崎晶子 (分担): 5章 補綴治療時の診療補助. (一社) 全国歯科衛生士教育協議会 監修: 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版第2刷, 医歯薬出版, 東京, 2026. 150-169. ISBN 978-4-263-42640-1.
- 5) 宮崎晶子 (分担): 3章 有床義歯治療 患者への説明と指導. (一社) 全国歯科衛生士教育協議会 監修: 歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 第1版第4刷, 医歯薬出版, 東京, 2026. 133-144, ISBN 978-4-263-42615-9.
- 6) 宮崎晶子 (分担): 11章 その他の歯科材料 歯科補綴にかかわる材料. (一社) 全国歯科衛生士教育協議会 監修: 歯科衛生学シリーズ 歯科材料 第2版第1刷, 医歯薬出版, 東京, 2026. 162-170. ISBN 978-4-263-42612-8.
- 7) 宮崎晶子 (分担): III編 2章 歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報処理, 3 認知機能の把握~7 口腔の機能的問題の把握. (一社) 全国歯科衛生士教育協議会 監修: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版第2刷, 医歯薬出版, 東京, 2026. 98-126. ISBN 978-4-263-42642-5.

## B 原 著

## C 総 説・解 説 (報告書・ガイドライン等)

## D 報 告 (臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等)・紀 要

## E 学術大会 (口演・ポスター発表)・講演会・研修会・研究会等での講演

- 1) 土田智子, 榎 志佳, 長谷川優, 大橋誠, 小林裕子, 松田知子, 清野可那子, 嵐 聖芽, 煤賀美緒, 池田裕子, 宮崎晶子, 浅沼直樹. 歯科衛生士学生における口腔・咽頭吸引実習の教育効果. 第22回日本口腔ケア学会学術大会, 新潟市, 2025年4月26~27日.
- 2) 圓山史織、池田裕子、岩田采夕、小林彩乃、田中桜良、宮崎晶子. 歯科用ユニットにおける拭掃状態の可視化について, 第36回甲信越北陸口腔保健研究会学術大会、新潟県新潟市、2025年5月17日.
- 3) 両角祐子, 宮崎晶子, 土田智子, 浅沼直樹, 佐藤聡, 小松崎明, 中原賢. 協同学習を用いた多職種連携教育の取り組み. 第44回日本歯科医学教育学会学術大会, 浦安市, 2025年8月29~30日.
- 4) 安井真奈美, 前田尚子, 小村照代, 船奥律子, 宮崎晶子, 大宮由布子, 山村有希子, 畠中能子, 石川裕子. 歯科衛生士の倫理綱領事例集の作成に向けた取り組みの報告. 日本歯科衛生学会第20回学術大会, 東京, 11月2~3

日.

- 5) 宮崎 晶子, 長谷川 優, 土田 智子, 元井 志保, 煤賀 美緒, 嵐 聖芽, 榎志佳, 清野可那子, 池田 裕子. 視知覚パターンを活用した教育法の確立 第2報 モニターデモと従来型デモによる教育効果の比較. 第16回日本歯科衛生教育学会学術大会、静岡市, 2025年12月6~7日.
- 6) 煤賀美緒, 長谷川優, 榎 志佳, 池田裕子, 宮崎晶子. 就職先として県内を希望する学生と県外を希望する学生の意識の違い. 第16回日本歯科衛生教育学会学術大会, 静岡市, 2025年12月5日~6日.
- 7) 茂野光, 瀬戸宗嗣, 廣安一彦, 上田一彦, 宮崎晶子. 口腔内スキャナーを用いたインプラントメンテナンス患者への応用. 日本口腔インプラント学会第45回関東・甲信越支部学術大会, 東京, 2026年2月14~15日.
- 8) 茂野光, 宮崎晶子, 瀬戸宗嗣. 口腔内スキャナーによる Oral Hygiene Instruction への応用. 第57回歯科保健研究会, 新潟市, 2026年2月18日.

F 特別講演・シンポジウム等での講演

G その他(学会賞等の受賞、学会認定・資格の取得、科研費ほか競争的研究費等)

- ・研究費の名称: デンタルプロ株式会社

種類 : 継続

研究期間 : 2025年10月1日~2026年9月30日

研究課題名 : 歯間ブラシの選択サイズと使用時にかかる圧(力)との関係  
解析~ 把持と刷掃動作の機械的計測 ~

研究代表者: 宮崎晶子

研究分担者: 土田智子, 池田裕子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐 聖芽, 榎志佳, 清野可那子, 両角祐子, 高塩智子

一課題あたりの総取得額: 30万

- ・研究費の名称: デンタルプロ株式会社

種類 : 継続

研究期間 : 2025年10月1日~2026年9月30日

研究課題名 : 歯間ブラシ使用時にかかる負荷(力)の分析と評価方法探索  
~ 口腔状態による圧変化と臨床的高価 ~

研究代表者: 両角祐子

研究分担者: 高塩智子, 宮崎晶子, 土田智子, 池田裕子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐聖芽, 榎志佳, 清野可那子

# 令和7年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和8年3月31日現在)

氏名 吉村 建  
学位 博士(歯学)

## 1. 研究テーマ

(和文名) 舌粘膜の形態学に関するコンピュータビジョン

(英文名) Computer Vision for the Morphology of the Tongue Mucosa

## 2. 今年度の研究計画

### 3. 対外的活動(学外講義・学会活動など)

1) 他大学・短期大学での講義

2) 学会活動(監事、理事、評議員、査読他の委員、学会大会長など)

・日本解剖学会評議委員

・査読2件(Odontology 11/6, 10/17)

3) 公的な委員会等(国家試験委員、行政委員、表彰・認定審査委員など)

## 4 研究業績

A 著書(書籍・教科書・翻訳等)

B 原著

C 総説・解説(報告書・ガイドライン等)

D 報告(臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等)・紀要

E 学術大会(口演・ポスター発表)・講演会・研修会・研究会等での講演

1) LED励起による標準 *S. mutans* 株蛍光検出に関する予備的研究

吉村 建, 土田智子, 三上正人, 山際伸一, 浅沼直樹

第57回 歯科保健研究会

F 特別講演・シンポジウム等での講演

G その他（学会賞等の受賞、学会認定・資格の取得、科研費ほか競争的研究費等）

日本学術振興会科学研究費補助金，基盤研究 C，（継続），2024～2026 年度，  
舌粘膜のマルチレイヤーイメージングとコンピュータビジョンによる疾病徴候描出の試み

吉村 建（代表），山際伸一，土田智子，浅沼直樹（分担），650000 円

# 令和7年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和8年3月31日現在)

氏名 長谷川 優  
学位 博士(歯学)

## 1. 研究テーマ

- 学生のキャリア選択に影響を与える因子について  
Factors influencing students' career choices
- 学童期における矯正歯科治療必要度とカリエス分布の関連について  
The relationship between the need for orthodontic treatment and the distribution of caries in school-age children
- 上顎における中切歯と側切歯の歯冠近遠心幅径の関係について  
The relationship of tooth crown dimensions between central and lateral incisor in maxilla
- ブラケット除去後の歯面の耐酸性について  
Acid resistance of tooth enamel after orthodontic bracket debonding
- 食事環境の実態調査；スマートフォン操作を伴う「ながら食べ」が咀嚼能力に及ぼす影響  
Survey on the actual state of meal environments: influence of distracted eating using smartphones on masticatory performance.
- 新型コロナウイルス(COVID-19)感染症のパンデミックによる心理状況の変化がもたらした影響  
Impact of the changing psychological conditions caused by the pandemic of the new coronavirus (COVID-19) infection.

## 2. 今年度の研究計画

- 学生のキャリア選択に影響を与える因子について  
International Journal of Dental Hygiene 誌と日本歯科衛生教育学会雑誌にそれぞれ論文が掲載された。令和8年度も、引き続きデータの収集と解析を行いつつ、関連学会での発表も行う。

- ・ 学童期における矯正歯科治療必要度とカリエス分布の関連について  
モンゴル健康科学大学歯科矯正学講座と連携しつつ、研究を継続する。
- ・ 上顎における中切歯と側切歯の歯冠近遠心幅径の関係について  
資料を収集しつつ、永久歯の歯冠形態に関する研究を継続する。
- ・ ブラケット除去後の歯面の耐酸性について  
現在、論文原稿を作成中である。
- ・ 食事環境の実態調査；スマートフォン操作を伴う「ながら食べ」が咀嚼能力に及ぼす影響  
現在、論文原稿を作成中である。
- ・ 新型コロナウイルス（COVID-19）感染症のパンデミックによる心理状況の変化がもたらした影響  
現在、論文原稿を投稿中である。令和8年度は査読結果に対応する。

### 3. 対外的活動（学外講義・学会活動など）

#### 1) 他大学・短期大学での講義

- ・ 該当なし

#### 2) 学会活動（監事、理事、評議員、査読他の委員、学会大会長など）

- ・ 全国大学歯科衛生士教育協議会雑誌編集委員会 査読委員
- ・ Odontology 査読委員
- ・ Journal of Dental Education 査読委員
- ・ European Journal of Dental Education 査読委員
- ・ Clinical and Investigative Orthodontics 査読委員
- ・ International Journal of Dental Hygiene 査読委員
- ・ 甲北信越矯正歯科学会雑誌編集委員会 委員
- ・ 全国大学歯科衛生教育協議会 教育・研究委員会 委員

#### 3) 公的な委員会等（国家試験委員、行政委員、表彰・認定審査委員など）

- ・ 高等教育コンソーシアムにいがた歯科系タスクフォース部会 委員

#### 4 研究業績

##### A 著書（書籍・教科書・翻訳等）

該当なし

##### B 原著

1. Mio Susuga, Yasuyuki Takahashi, Asami Iguchi, Shiho Motoi, \* Yuh Hasegawa. Utilising text Mining to determine Japanese dental hygiene students' perceptions of dental hygienists and dentists. ☆◎○Int J Dent Hygiene 2025; 23: 430-438. doi/pdf/10.1111/idh.12865.
2. 煤賀美緒, 長谷川優, 犬飼順子, 市川順子. 歯科衛生学生のキャリア教育 — 歯科衛生学生のキャリア教育プログラムに関するアンケートからの考察 —. ○日衛教育誌 2025 ; 16 : 102-110.

##### C 総説・解説（報告書・ガイドライン等）

該当なし

##### D 報告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀要

1. 渡辺有理, 長谷川優, 飯島重樹. 矯正治療単独でカモフラージュ治療を行った骨格性下顎左方偏位症例の長期経過. ○東京矯歯誌 2025 ; 35 : 134-140.

##### E 翻訳

該当なし

##### F 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

1. 嵐 聖芽, 長谷川優, 清野可那子, 土田智子, 藤田浩美. 歯科衛生学生の職業アイデンティティ形成に対する医療職に従事する近親者の有無の影響 — 第1学年時と第2学年時の比較 —. 日衛教育誌 2025 ; 16(2) : 195.
2. 煤賀美緒, 長谷川優, 榎 志佳, 池田裕子, 宮崎晶子. 就職先として県内を希望する学生と県外を希望する学生の意識の違い. 日衛教育誌 2025 ; 16(2) : 198.
3. 宮崎晶子, 長谷川優, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐 聖芽, 榎 志佳, 清野可那子, 池田裕子. 視知覚パターンを活用した教育法の確立 第2報 モニターデモと従来型デモによる教育効果の比較. 日衛教育誌 2025, 16(2) : 210.

4. 土田智子, 長谷川 優, 榎 志佳, 大橋 誠, 小林裕子, 松田知子, 清野可那子, 嵐 聖芽, 煤賀美緒, 池田裕子, 宮崎晶子, 浅沼直樹. 歯科衛生学生における口腔・咽頭吸引実習の教育効果. 第 22 回日本口腔ケア学会学術大会, 新潟県新潟市, 2025 年 4 月 26 日
5. 岩田采夕, 長谷川 優, 小林彩乃, 田中桜良, 圓山史織, 元井志保. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) パンデミックにより保健行動が変化した可能性についての検討. 第 36 回甲信越北陸口腔保健研究会学術大会, 新潟県新潟市, 2025 年 5 月 17 日
6. 高橋靖之, 井口麻美, 押切 孔, 斎藤芳秀, 嵐 聖芽, 土田智子, 長谷川優, 大橋 誠. 早期臨床病院実習における歯科医師と歯科衛生士に対するイメージの変化. 第 44 回日本歯科医学教育学会学術大会, 千葉県浦安市, 2025 年 8 月 29 日
7. 渡辺有理, 椎木 甫, 吉田早織, 内田喜昭, 長谷川優, 飯島重樹, 村松 実. 一期治療で contraction quad-helix を使用した缺状咬合を伴う歯槽性上顎前突症例. 第 84 回日本矯正歯科学会学術大会, 北海道札幌市, 2025 年 9 月 29 日
8. 長谷川優. 日本歯科大学新潟短期大学歯科衛生学科学生の現状, 新潟市日本歯科大学新潟校友会 (二十日会) 研修会. 新潟県新潟市, 2025 年 10 月 17 日
9. 栗原結女, 煤賀美緒, 長谷川優. 食事環境の実態調査ースマートフォン操作を伴う「ながら食べ」が咀嚼能力に及ぼす影響ー. 第 57 回歯科衛生研究会, 新潟県新潟市, 2026 年 2 月 18 日

G その他 (学会賞等の受賞、学会認定・資格の取得、科研費ほか競争的研究費等)

該当なし

# 令和7年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和8年3月31日現在)

氏名 渡辺 みのり

学位 博士(理学)

## 1. 研究テーマ

1. Belle II 実験のための分散コンピューティングシステムの研究  
(R&D of distributed computing system for Belle II experiment)
2. Belle 実験における稀崩壊過程の研究  
(The study of rare decay at Belle)
3. 常温硬化プラスチックシンチレータの開発  
(Development of plastic scintillator cured at room temperature)
5. 有機半導体放射線検出器の開発  
(Study on the Organic Semiconductor Radiation Detectors)
6. 原子炉ニュートリノ検出器の開発  
(The development of reactor neutrino monitor)

## 2. 今年度の研究計画

1. Belle II 実験のための分散コンピューティングシステムの研究
2. Belle 実験における稀崩壊過程の研究
3. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C) 継続  
常温硬化・紫外線硬化樹脂を使った高速応答プラスチックシンチレータの開発  
2024～2026 年度原子炉ニュートリノ検出器の開発(24K07072)

## 3. 対外的活動(学外講義・学会活動など)

### 1) 他大学での講義

- (1) 日本歯科大学新潟生命歯学部における講義  
熱と物質の物理学 第1学年
- (2) 日本歯科大学新潟生命歯学部における学生実習  
情報科学の実習, 第1学年  
歯科入門実習(物理分野), 第1学年

### 2) 学会活動(監事、理事、評議員、査読他の委員、学会大会長など) 記載事項なし

### 3) 公的な委員会等(国家試験委員、行政委員、表彰・認定審査委員など)

記載事項なし

#### 4 研究業績

##### A 著書（書籍・教科書・翻訳等）

##### B 原著

1. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Akopov N, (Belle, Belle II Collaborations), Ono H, Watanabe M (293, 428th) (452 authors). Measurement of the inclusive branching fractions for  $B_s^0 B_s^0$  decays into D mesons via hadronic tagging. ☆ © JHEP. 2025; 114: 1–25. doi : 10.1007/JHEP04(2025)114.
2. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Alhakami M, (Belle II Collaboration), Ono H, Watanabe M (289, 419th) (438 authors). Measurement of the branching fraction and CP-violating asymmetry of the decay  $B^0 \rightarrow \pi^0 \pi^0$  using 387 million  $\Upsilon(4S)$  decays in Belle II data. ☆ © Phys. Rev. D. 2025; 111: L071102–1–L071102–8. doi : 10.1103/PhysRevD.111.L071102.
3. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Akopov N, Alhakami M, (Belle II Collaboration), Ono, H, Watanabe M (252, 361th) (379 authors). Measurement of the branching fraction, polarization, and time-dependent CP asymmetry in  $B^0 \rightarrow \rho^+ \rho^-$  decays and constraint on the CKM angle  $\phi$ . ☆ © Phys. Rev. D. 2025; 111: 092001–1–092001–15. doi : 10.1103/PhysRevD.111.092001.
4. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Akopov N, (Belle, Belle II Collaborations), Ono H, Watanabe M (227, 324th) (339 authors). Model-independent measurement of  $D^0$ - $D^{\bar{0}}$  mixing parameters in  $D^0 \rightarrow K_S^0 \pi^+ \pi^-$  decays at Belle and Belle II. ☆ © Phys. Rev. D. 2025; 111: 112011–1–112011–13. doi : 10.1103/7p5s-f9qp.
5. Adachi I, Aggarwal L, Aihara H, Akopov N, Aloisio A, (Belle II Collaboration), Ono H, Watanabe M (276, 398th) (419 authors). Determination of  $|V_{ub}|$  from simultaneous measurements of untagged  $B^0 \rightarrow \pi^+ \ell^+ \nu \ell$  and  $B^+ \rightarrow \rho^0 \ell^+ \nu \ell$  decays. ☆ © Phys. Rev. D. 2025; 111: 112009–1–112009–20. doi : 10.1103/jnwn-ts6q.10. Adachi I, Ahn Y, Akopov N, Alghamdi S, Alhakami M, (Belle II Collaboration),
6. Ono H, Watanabe M (245, 354th) (374 authors). Measurement of the time-integrated CP asymmetry in  $D^0 \rightarrow \pi^0 \pi^0$  decays at Belle II. ☆ © Phys. Rev. D. 2025; 112: 012006–1–012006–12. doi : 10.1103/vg9c-xvdc.
7. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Ahn J. K, Aihara H, (Belle, Belle II Collaborations), Ono H, Watanabe M (274, 404th) (426 authors).

- Measurement of the branching fraction of  $\Lambda_c^+ \rightarrow p K_S^0 \pi^0$  at Belle.  $\star\odot$  Phys. Rev. D. 2025; 112: 012013-1-012013-11. doi : 10.1103/4mnw-tvks.
8. Adachi I, Ahn Y, Akopov N, Alghamdi S, Alhakami M, (Belle, Belle II Collaborations), Ono H, Watanabe M (247, 358th) (378 authors). Measurement of the time-integrated CP asymmetry in  $D^0 \rightarrow K_S^0 K_S^0$  decays using opposite-side flavor tagging at Belle and BelleII.  $\star\odot$  Phys. Rev. D. 2025; 112: 012017-1-012017-9. doi : 10.1103/8x1h-39dp.
  9. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Ahn J. K, Aihara H, (Belle, Belle II Collaborations), Ono H, Watanabe M (263, 384th) (405 authors). Search for  $P_{cs}(4459)$  and  $P_{cs}(4338)$  in Upsilon(1S,2S) inclusive decays at Belle.  $\star\odot$  Phys. Rev. Lett.. 2025; 135: 041901-1-041901-9. doi : 10.1103/pf8m-6j69.
  10. Adachi I, Adamczyk K, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, (Belle, Belle II Collaborations), Ono H, Watanabe M (280, 404th) (425 authors). Search for Lepton-Flavor-Violating Decay Modes  $B^0 \rightarrow K_S^0 \tau^\pm \ell^\mp$  with Hadronic B Tagging at Belle and Belle II. Phys. Rev. Lett.. 2025; 135: 041801-1-041801-8. doi : 10.1103/yzvh-v3hm.
  11. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Akopov N, (Belle II Collaboration), Ono H, Watanabe M (295, 432th) (454 authors). Measurement of  $B \rightarrow K^{*0}(892) \gamma$  decays at Belle II.  $\star\odot$  JHEP. 2025; 24: 1-20. doi : 10.1007/JHEP09(2025)024.
  12. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Ahn Y, Aihara H, (Belle, Belle II Collaborations), Ono H, Watanabe M (275, 397th) (419 authors). Search for lepton-flavor-violating  $\tau \rightarrow \ell - K_S^0$  decays at Belle and Belle II.  $\star\odot$  JHEP. 2025; 92: 1-27. doi : 10.1007/JHEP08(2025)092.
  13. Adachi I, Ahn Y, Aihara H, Akopov N, Alghamdi N, (Belle, Belle II Collaborations), Ono H, Watanabe M (247, 356th) (375 authors). Search for lepton flavor-violating decay modes  $B^0 \rightarrow K^{*0} \tau^\pm \ell^\mp$  ( $\ell = e, \mu$ ) with hadronic B-tagging at Belle and Belle II.  $\star\odot$  JHEP. 2025; 184: 1-22. doi : 10.1007/JHEP08(2025)184.
  14. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Akopov N, (Belle II Collaboration), Ono H, Watanabe M (289, 417th) (439 authors). Search for a Dark Higgs Boson Produced in Association with Inelastic Dark Matter at the Belle II Experiment.  $\star\odot$  Phys. Rev. Lett.. 2025; 135: 131801-1-131801-10. doi : 10.1103/37w5-glpp.
  15. Adachi I, Adamczyk K, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, (Belle II Collaboration), Ono H, Watanabe M (293, 425th) (448 authors). Search for

- $B^0 \rightarrow K^* \tau^+ \tau^-$  Decays at the Belle II Experiment.  $\star \odot$ Phys. Rev. Lett.. 2025; 135: 151801-1-151801-8. doi : 10.1103/v1q3-9dy8.
16. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Akopov N, (Belle, Belle II Collaborations), Ono H, Watanabe M (275, 400th) (424 authors). Improved measurement of Born cross sections for  $\chi_{bJ} \omega$  and  $\chi_{bJ} (\pi^+ \pi^- \pi^0)_{\text{non-}\omega}$  ( $J = 0, 1, 2$ ) at Belle and Belle II.  $\diamond$ arXiv. 2025; 1. doi : 10.48550/arXiv.2510.25461.
  17. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Ahn Y, Aihara H, (Belle, Belle II Collaborations), Ono H, Watanabe M (313, 457th) (481 authors). Measurement of the  $D^0 \rightarrow K^- \pi^+ e^+ e^-$  branching fraction and search for  $D^0 \rightarrow \pi^+ \pi^- e^+ e^-$  and  $D^0 \rightarrow K^+ K^- e^+ e^-$  decays at Belle.  $\star \odot$ Phys. Rev. D. 2025; 112: L071101-1-L071101-8. doi : 10.1103/mkx8-cl23.
  18. Abumusabh M, Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Ahn Y, (Belle II Collaboration), Ono H, Watanabe M (249, 351th) (369 authors). Observation of the radiative decay  $D_s(2317)^+ \rightarrow D_s^* \gamma$ .  $\diamond$ arXiv. 2025; 1-8. doi : 10.48550/arXiv.2510.27174.
  19. Adachi I, Ahmed H, Ahn Y, Aihara H, Akopov N, (Belle II Collaboration), Ono H, Watanabe M (272, 387th) (410 authors). Charged-hadron identification at Belle II.  $\star \odot$ Eur. Phys. J. C . 2025; 85: 1237-1-1237-27. doi : 10.1140/epjc/s10052-025-14627-7.
  20. Abumusabh M, Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Ahn Y, (Belle, Belle II Collaborations), Ono H, Watanabe M (265, 376th) (397 authors). Measurements of the mass difference  $m(B^0) - m(B^+)$  and the energy dependence of the cross-section ratio  $\sigma(e^+ e^- \rightarrow B^0 B^{\bar{0}}) / \sigma(e^+ e^- \rightarrow B^+ B^-)$  at Belle and Belle II.  $\diamond$ arXiv. 2025; 1-29. doi : 10.48550/arXiv.2511.15926.
  21. Adachi I, Adamczyk K, Aggarwal L, Ahmed H, Ahn Y, (Belle II Collaboration), Ono H, Watanabe M (270, 389th) (409 authors). Determination of  $|V_{cb}|$  using  $B \rightarrow D \ell \nu \ell$  decays at Belle II.  $\star \odot$ Phys. Rev. D. 2025; 112: 112009-1-112009-15. doi : 10.1103/vs8k-259v.
  22. Abumusabh M, Adachi I, Ahmed H, Ahn Y, Aihara H, (Belle II Collaboration), Ono H, Watanabe M (296, 425th) (449 authors). Search for the lepton-flavor-violating  $\tau \rightarrow e \mp \ell \pm \ell \mp$  decays at Belle II.  $\star \odot$ JHEP. 2025; 169: 1. doi : 10.1007/JHEP12(2025)169.
  23. Abumusabh M, Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Ahn Y, (Belle, Belle II Collaborations), Ono H, Watanabe M (270, 386th) (407 authors). A search for feebly-interacting particles in  $BB$  decays with missing energy at Belle.  $\diamond$ arXiv. 2026; 1-14. doi : 10.48550/arXiv.2601.07104.

24. Abumusabh M, Adachi I, Adamczyk K, Aggarwal A, Aggarwal L, (Belle, Belle II Collaborations), Ono H, Watanabe M (277, 392th) (413 authors). Study of  $B^+ \rightarrow \mu + \nu_\mu$  decays at Belle and Belle II.  $\diamond$ arXiv. 2026; 1-25. doi : 10.48550/arXiv.2602.09800.
25. Abumusabh M, Adachi I, Aggarwal A, Aggarwal L, Ahmed H, (Belle II Collaboration), Ono H, Watanabe M (272, 384th) (407 authors). Study of  $e^+e^- \rightarrow \pi^+ \pi^- \Upsilon(1D)$  at Belle II.  $\diamond$ arXiv. 2026; 1-22. doi : 10.48550/arXiv.2602.19807.
26. Abumusabh M, Adachi I, Aggarwal A, Aggarwal L, Ahmed H, (Belle, Belle II Collaborations), Ono H, Watanabe M (278, 393th) (416 authors). Searches for charged-lepton-flavor violation in  $\chi_{bJ}(1P) \chi_{bJ}(1P)$  decays.  $\diamond$ arXiv. 2026; 1-5. doi : 10.48550/arXiv.2603.10818.
27. Abumusabh M, Adachi I, Adamczyk K, Aggarwal A, Aggarwal L, (Belle, Belle II Collaborations), Ono H, Watanabe M (290, 414th) (436 authors). Search for the decay  $B^+ \rightarrow K^+ \tau^+ \tau^-$  using data from the Belle and Belle II experiments.  $\diamond$ arXiv. 2026; 1-11. doi : 10.48550/arXiv.2603.24437.

C 総説・解説（報告書・ガイドライン等）

記載事項なし

D 報告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀要

記載事項なし

E 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

1. 宮原 慶、深澤 永里香、宮田 恵理、宮田 等、早坂 圭司、勝亦 正明、小野 裕明、渡辺みのり（全 14 名）。新規固体放射線検出器材料ポリアニリン-酸化ガドリニウム複合体の合成と感度評価。第 73 回応用物理学会春季学術講演会，東京都目黒区，2026 年 3 月 15～18 日
2. 坂下 航太郎、深澤 永里香、宮田 恵理、宮田 等、早坂 圭司、勝亦 正明、小野 裕明、渡辺 みのり（全 14 名）。導電性高分子-酸化チタン複合材料の酸化チタン濃度依存性と放射線検出特性評価。第 73 回応用物理学会春季学術講演会，東京都目黒区，2026 年 3 月 15～18 日
3. 金子 朱理 1、宮田 恵理、深澤 永里香、宮田 等、早坂 圭司、勝亦 正明、小野 裕明、渡辺 みのり（全 14 名）。タンデム型有機半導体放射線センサの試作と性能評価。第 73 回応用物理学会春季学術講演会，東京都目黒区，2026 年 3 月 15～18 日

F 特別講演・シンポジウム等での講演  
記載なし

G その他（学会賞等の受賞、学会認定・資格の取得、科研費ほか競争的研究費等）  
科研費 24K07072 2024 年度 基盤研究(C) 常温硬化・紫外線硬化樹脂を使った高速応答プラスチックシンチレータの開発 2024～2026 年度

# 令和7年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和8年3月31日現在)

氏名 土田 智子  
学位 博士(口腔保健福祉学)

## 1. 研究テーマ

1) 口腔粘膜表面の微細形態学的観察とバイオフィルムのプロファイリングに関する研究 Study on micro-morphological observations of oral mucosal surfaces and biofilm profiling

2) 歯科衛生学生における口腔・咽頭吸引実習の教育効果 Effectiveness of oral and pharynx suction training in dental hygiene undergraduate education.

## 2. 今年度の研究計画

1) 口腔粘膜表面の微細形態学的観察とバイオフィルムのプロファイリングに関する研究

新型口腔粘膜観察装置の効果を検証しつつ、これらの手法により包括的に口腔粘膜を検証する。口腔内常在菌の自家蛍光および識別試薬に関する調査を実施し、新潟歯学会雑誌に投稿を行った。

2) 歯科衛生学生における口腔・咽頭吸引実習の教育効果  
歯科衛生士は、口腔ケアや摂食嚥下に携わる者として呼吸器のリスク管理が求められており、「歯科診療の補助」として2014年から吸引を実習に取り入れている。学生アンケート結果から、吸引実習の教育効果とより効果的な実施時期を検討した。なお、2025年4月口腔ケア学会においてポスター発表し、現在日本歯科衛生教育学会雑誌に投稿中である。

## 3. 対外的活動(学外講義・学会活動など)

1) 他大学・短期大学での講義

2) 学会活動(監事、理事、評議員、査読他の委員、学会大会長など)

(1) 歯科衛生教育学会 学術委員会 委員

3) 公的な委員会等(国家試験委員、行政委員、表彰・認定審査委員など)

(1) 歯科衛生士国家試験 理事

(2) (一社)全国歯科衛生士教育協議会 教育委員

#### 4 研究業績

##### A 著書（書籍・教科書・翻訳等）

- 1) 土田智子（分担）：歯科衛生学シリーズ 歯科材料 第1版 医歯薬出版株式会社， 6・8章分担 ISBN 978-4-263-42612-8. 2026年2月10日 第2版第1刷発行
- 2) 土田智子（分担）：歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 医歯薬出版株式会社 I編 5章⑤・⑥分担 ISBN 978-4-263-42629-6. 2026年2月10日 第2版第1刷発行

##### B 原著

土田智子， 吉村 建， 仲村健二郎， 三上正人， 種村 潔， 大内章嗣， 口腔カンジダ症の非侵襲的スクリーニングを目的とした各種フィトケミカル添加による口腔内微生物3種の蛍光スペクトル解析， ○新潟歯学会雑誌 2025 第55巻 11-16（学位論文）

##### C 総説・解説（報告書・ガイドライン等）

##### D 報告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀要

##### E 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

- 1) 土田智子， 榎志佳， 長谷川優， 大橋誠， 小林裕子， 松田知子， 清野可那子， 嵐聖芽， 煤賀美緒， 池田裕子， 宮崎晶子， 浅沼直樹. 歯科衛生士学生における口腔・咽頭吸引実習の教育効果. 第22回日本口腔ケア学会， 新潟， 2025年4月26～27日
- 2) 両角祐子， 宮崎晶子， 土田智子， 浅沼直樹， 佐藤聡， 小松崎明， 中原賢. 協同学習を用いた多職種連携教育の取り組み. 第44回日本歯科医学教育学会学術大会， 浦安市， 2025年8月29～30日.
- 3) 宮崎 晶子， 長谷川 優， 土田 智子， 元井 志保， 煤賀 美緒， 嵐 聖芽， 榎志佳， 清野可那子， 池田 裕子. 視知覚パターンを活用した教育法の確立 第2報 モニターデモと従来型デモによる教育効果の比較. 第16回日本歯科衛生教育学会学術大会、 静岡市， 2025年12月6～7日.
- 4) 石川由和， 土田智子， 今井あかね. コーヒー飲用による口腔乾燥感と唾液の性状の関連性について. 第57回歯科保健研究会， 新潟， 2026年2月18日
- 5) 吉村 建， 土田智子， 三上正人， 山際伸一， 浅沼直樹. LED 励起による *S.mutans* 標準株コロニーモデルの蛍光検出に関する予備的研究. 第57回歯科保健研究会， 新潟， 2026年2月18日

F 特別講演・シンポジウム等での講演  
該当なし

G その他（学会賞等の受賞、学会認定・資格の取得、科研費ほか競争的研究費等）

1) 日本学術振興会科学研究費補助金， 基盤研究 C， （継続）， 2024～2026年度，

舌粘膜のマルチレイヤーイメージングとコンピュータビジョンによる疾病徴候描出の試み吉村 建（代表），山際伸一，土田智子，浅沼直樹（分担），650000円

2) 研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種類：継続

研究期間：2025年10月1日～2026年9月30日

研究課題名：歯間ブラシの選択サイズと使用時にかかる圧(力)との関係解析～  
把持と刷掃動作の機械的計測 ～

研究代表者：宮崎晶子

研究分担者：土田智子，池田裕子，元井志保，煤賀美緒，嵐 聖芽，榎志佳，  
清野可那子，両角祐子，高塩智子

一課題あたりの総取得額：30万

3) 研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種類：継続

研究期間：2025年10月1日～2026年9月30日

研究課題名：歯間ブラシ使用時にかかる負荷(力)の分析と評価方法探索  
～ 口腔状態による圧変化と臨床的高価 ～

研究代表者：両角祐子

研究分担者：高塩智子，宮崎晶子，土田智子，池田裕子，元井志保，  
煤賀美緒，嵐聖芽，榎志佳，清野可那子

# 令和7年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和8年3月31日現在)

氏 名 池田 裕子

学 位

## 1. 研究テーマ

(和文名)

- ・ 歯科衛生学生における口腔・咽頭吸引実習の教育効果に関する研究
- ・ 口唇色が歯冠色の見え方に及ぼす影響に関する研究（専攻研究指導）

(英文名)

- ・ Effectiveness of oral and pharynx suction training in dental hygiene undergraduate education.
- ・ The Influence of Lip Color on the Appearance of Crown Color.

## 2. 今年度の研究計画

- ・ 口唇色が歯冠色の見え方に及ぼす影響について（専攻研究指導）

口唇色のリップカラーを用いて、歯の色の見え方についてアンケート調査を行い、歯冠色の明るさについて検討する専攻科生の研究を指導した。研究結果は第57回歯科衛生研究会にて口頭発表を行った。（2026年2月専攻科生発表）

## 3. 対外的活動（学外講義・学会活動など）

1) 他大学・短期大学での講義

2) 学会活動（監事、理事、評議員、査読他の委員、学会大会長など）

3) 公的な委員会等（国家試験委員、行政委員、表彰・認定審査委員など）

(1) (一社)新潟県歯科衛生士会 理事

(2) 新潟市介護認定審査委員

## 4. 研究業績

A 著 書（書籍・教科書・翻訳等）

B 原 著

C 総説・解説（報告書・ガイドライン等）

D 報告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀要

E 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

- ・圓山史織、池田裕子、岩田采夕、小林彩乃、田中桜良、宮崎晶子：歯科用ユニットにおける拭掃状態の可視化について、第36回甲信越北陸口腔保健研究会学術大会、新潟県新潟市、2025年5月17日。
- ・宮崎晶子、長谷川優、土田智子、元井志保、煤賀美緒、嵐聖芽、榎志佳、清野可那子、池田裕子：視知覚パターンを活用した教育法の確立 第2報 モニターデモと従来型デモによる教育効果の比較：令和7年度日本歯科衛生教育学会、静岡県静岡市、2025年12月6日、7日
- ・煤賀美緒、長谷川優、榎志佳、池田裕子。就職先として県内を希望する学生と県外を希望する学生の意識の違い。第16回日本歯科衛生教育学会学術大会、静岡市、2025年12月5日～12月6日。
- ・清水莉子、加藤千景、池田裕子、榎志佳、今井あかね：口唇色が歯冠色の見え方に及ぼす影響、第57回歯科保健研究会、新潟県新潟市、2026年2月18日。

F 特別講演・シンポジウム等での講演

G その他（学会賞等の受賞、学会認定・資格の取得、科研費ほか競争的研究費等）

1) 研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種類：継続

研究期間：2025年10月1日～2026年9月30日

研究課題名：歯間ブラシの選択サイズと使用時にかかる圧(力)との関係解析  
～ 把持と刷掃動作の機械的計測 ～

研究代表者：宮崎晶子

研究分担者：土田智子、池田裕子、元井志保、煤賀美緒、嵐聖芽、榎志佳、清野可那子、両角祐子、高塩智子

一課題あたりの総取得額：30万

2) 研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種 類 : 継 続

研究期間 : 2025 年 10 月 1 日～2026 年 9 月 30 日

研究課題名 : 歯間ブラシ使用時にかかる負荷(力)の分析と評価方法探索  
～ 口腔状態による圧変化と臨床的高価 ～

研究代表者 : 両角祐子

研究分担者 : 高塩智子, 宮崎晶子, 土田智子, 池田裕子, 元井志保,  
煤賀美緒, 嵐聖芽, 榎志佳, 清野可那子

# 令和7年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和8年3月31日現在)

氏名 藤田 浩美  
学位 学士(家政学)

## 1. 研究テーマ

- 1) 歯磨剤の味刺激によるブラッシングへの影響 Effect of toothpaste taste on brushing
- 2) 歯科衛生学生における口腔・咽頭吸引実習の教育効果 Effectiveness of oral and pharynx suction training in dental hygiene undergraduate education.
- 3) 高齢期のストレスに関連する全身のおよび口腔的要因：日本国民健康・栄養調査データベースを用いた研究 Systemic and Oral Factors Relating to Stress in Later Life: A Study Using the Japanese National Statistics Database

## 2. 今年度の研究計画

### 1) 歯磨剤の味刺激によるブラッシングへの影響

歯磨剤の味や刺激に対する使用者の嗜好がブラッシングに及ぼす影響についてNaCl配合歯磨剤を用いて検証した専攻科の研究を指導した。研究結果は第57回歯科保健研究会にて口頭発表を行った。また、日本口腔保健雑誌へ論文投稿予定である。

### 2) 歯科衛生学生における口腔・咽頭吸引実習の教育効果

歯科衛生士は、口腔ケアや摂食嚥下に携わる者として呼吸器のリスク管理が求められており、「歯科診療の補助」として2014年から吸引を実習に取り入れている。学生アンケート結果から、吸引実習の教育効果とより効果的な実施時期を検討した。当研究には共同研究者として参画している。なお、現在日本歯科衛生教育学会雑誌に投稿中である。

### 3) 高齢期のストレスに関連する全身のおよび口腔的要因：日本国民健康・栄養調査データベースを用いた研究

大規模な日本の全国統計データベースを用いて、心理的ストレスと主観的

な症状および受診を要する状態との関連性について検証を行った。当研究には共同研究者として参画し、Clinical and Practice に投稿した（2025年12月1日投稿）。

### 3. 対外的活動（学外講義・学会活動など）

1) 他大学・短期大学での講義

2) 学会活動（監事、理事、評議員、査読他の委員、学会大会長など）

3) 公的な委員会等（国家試験委員、行政委員、表彰・認定審査委員など）

### 4 研究業績

A 著 書（書籍・教科書・翻訳等）

B 原 著

1) Seino K, Komatsuzaki A, Mitomi K, Susuga M, Ono S, Enoki Y, Iguchi A, **Fujita H**, Komatsuzaki N. Systemic and Oral Factors Relating to Stress in Later Life: A Study Using the Japanese National Statistics Database. ☆◎○Clin Pract. 2025; 15(12): 226.

doi: 10.3390/clinpract15120226.

C 総 説・解 説（報告書・ガイドライン等）

D 報 告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀 要

E 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

1) 嵐 聖芽, 長谷川 優, 清野可那子, 土田智子, **藤田浩美**. 歯科衛生学生の職業アイデンティティ形成に対する医療職に従事する近親者の有無の影響—第1学年時と第2学年時の比較—. 第16回日本歯科衛生教育学会総会・学術大会, 静岡, 2025年12月6日～7日

2) 清水 茜, **藤田浩美**, 嵐 聖芽, 今井あかね. 歯磨剤の塩味によるブラッシングへの影響. 第57回歯科保健研究会, 新潟, 2026年2月18日

3) 平野真澄, 和久井優香, 澤田佳世, 相方恭子, **藤田浩美**. 歯科衛生科現任研修を通して今後の病院実習生への学習支援・指導についての検討. 第57回歯科保健研究会, 新潟, 2026年2月18日

F 特別講演・シンポジウム等での講演

G その他（学会賞等の受賞、学会認定・資格の取得、科研費ほか競争的研究費等）

# 令和7年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和8年3月31日現在)

氏名 加藤 千景  
学位 博士(歯科)

## 1. 研究テーマ

(和文名) Er:YAG レーザー切削した象牙質面の微細構造分析とレジン接着強さの検討

(英文名) Micromorphology analysis of deciduous dentins abraded with Er:YAG laser and investigation of their bond strength to resin composite

## 2. 今年度の研究計画

Er:YAG レーザー切削した象牙質面の微細構造分析とレジン接着強さの検討

## 3. 対外的活動(学外講義・学会活動など)

1) 他大学・短期大学での講義

2) 学会活動(監事、理事、評議員、査読他の委員、学会大会長など)

3) 公的な委員会等(国家試験委員、行政委員、表彰・認定審査委員など)

## 4. 研究業績

A 著書(書籍・教科書・翻訳等)

B 原著

C 総説・解説(報告書・ガイドライン等)

D 報告(臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等)・紀要

E 学術大会(口演・ポスター発表)・講演会・研修会・研究会等での講演

1. 小野幸絵, 小松崎明, 煤賀美緒, 加藤千景, 小松崎成, 鴨田剛司. 全身および口腔症状の QOL に対する影響について. 第 74 回日本口腔衛生学会学術大会, 新潟市, 2025 年 5 月 16~28 日

2. 小松崎明, 小野幸絵, 加藤千景, 三富加奈子, 高塩智子, 井口麻美, (全 10 名). 全身と口腔症状の関連性について: 2019 年国民生活基礎調査匿名データからの考察. 令和 7 年度歯学会大会, 東京都, 2025 年 6 月 7 日
3. 清水莉子, 加藤千景, 池田裕子, 榎志佳, 今井あかね. 口唇色が歯冠色に見える方に及ぼす影響. 第 57 回歯科保健研究会, 新潟市, 2026 年 2 月 18 日

F 特別講演・シンポジウム等での講演

G その他 (学会賞等の受賞、学会認定・資格の取得、科研費ほか競争的研究費等)

# 令和7年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和8年3月31日現在)

氏名 煤賀美緒  
学位 学士(人間環境学)

## 1. 研究テーマ

### 1) 歯科衛生士のキャリア教育

Career education of dental hygienists

### 2) 「ながら食べ」が咀嚼能力に及ぼす影響

Influence of distracted eating using smartphones on masticatory performance.

### 3) 小児の摂食・嚥下行動における評価法の開発

Development of evaluation methods for children's eating and swallowing behavior

## 2. 今年度の研究計画

1) 歯科衛生学生におけるキャリア教育について、大学歯科衛生士教育協議会加盟校の現状を調査した結果を日本歯科衛生教育学会誌へ論文投稿した。また、希望就職地域別での学生の意識の違いについて、同学会第16回学術大会にてポスター発表した。現在ロールモデルがキャリアデザインに及ぼす影響について調査中である。

2) スマートフォン操作などを伴いながら食事をする、いわゆる「ながら食べ」について、咀嚼能力にどのような影響を及ぼすのか検討した専攻科生の研究を指導した。研究結果は第57回歯科衛生研究会にて口頭発表を行った。また、日本口腔保健雑誌へ論文投稿予定である。

3) 小児期における異常嚥下癖等の現象を計画に把握するための測定法を開発すべく、日本学術振興会の基盤研究C(一般)の助成を受け研究を行っているが、今年度は研究代表者の産休・育休により一時中断しており、次年度より再開予定である。

### 3. 対外的活動（学外講義・学会活動など）

#### 1) 他大学・短期大学での講義

- ・長岡市立新組小学校
- ・新潟市立木山小学校
- ・新潟市立日和山小学校
- ・新潟市立東特別支援学校

#### 2) 学会活動（監事、理事、評議員、査読他の委員、学会大会長など）

- ・北信越障害者歯科臨床研究会 幹事

#### 3) 公的な委員会等（国家試験委員、行政委員、表彰・認定審査委員など）

- ・高等教育コンソーシアム新潟 歯科系タスクフォース部会 委員
- ・全国大学歯科衛生士教育協議会 教育研究委員会 委員
- ・新潟市介護認定審査委員

### 4 研究業績

#### A 著書

#### B 原著

- 1) **Susuga M**, Takahashi Y, Iguchi A, Motoi S, Hasegawa Y. Utilising Text Mining to Determine Japanese Dental Hygiene Students' Perceptions of Dental Hygienists and Dentists. ◎◇IJDH. 2025; 23: 430-438. doi: 10.1111/idh.12865
- 2) Seino K, Komatsuzaki A, Mitomi K, **Susuga M**, Ono S, Enoki Y, Iguchi A, Fujita H, Komatsuzaki N. Systemic and Oral Factors Relating to Stress in Later Life: A Study Using the Japanese National Statistics Database. ☆◎◇Clin Pract. 2025; 15: 226. doi: 10.3390/clinpract15120226.
- 3) **煤賀美緒**, 長谷川優, 犬飼順子, 市川順子. 歯科衛生学生のキャリア教育－歯科衛生学生のキャリア教育プログラムに関するアンケートからの考察－. ○◇日歯衛教会誌. 2025 ; 16 (2) : 102－110.

C 総説・解説（報告書・ガイドライン等）

D 報告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀要

E 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

- 1) 土田智子, 榎志佳, 長谷川優, 大橋誠, 小林裕子, 松田知子, 清野可那子, 嵐聖芽, **煤賀美緒**, 池田裕子, 宮崎晶子, 浅沼直樹. 歯科衛生士学生における口腔・咽喉吸引実習の教育効果. 第 22 回日本口腔ケア学会, 新潟市, 2025 年 4 月 26~27 日
- 2) **煤賀美緒**, 長谷川優, 榎志佳, 池田裕子. 就職先として県内を希望する学生と県外を希望する学生の意識の違い. 第 16 回日本歯科衛生教育学会学術大会, 静岡市, 2025 年 12 月 5 日~6 日.
- 3) 宮崎晶子, 長谷川優, 土田智子, 元井志保, **煤賀美緒**, 嵐聖芽, 榎志佳, 清野可那子, 池田裕子. 視知覚パターンを活用した教育法の確立 第 2 報 モニターデモと従来型デモによる教育効果の比較. 第 16 回日本歯科衛生教育学会学術大会, 静岡市, 2025 年 12 月 6~7 日.
- 4) 栗原結女, **煤賀美緒**, 長谷川優. 食事環境の実態—スマートフォン操作を伴う「ながら食べ」が咀嚼能力に及ぼす影響—. 第 57 回歯科保健研究会, 新潟市, 2026 年 2 月 18 日.

F 特別講演・シンポジウム等での講演

G その他

1) 外部研究費

・研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種類：継続

研究期間：2025 年 10 月 1 日~2026 年 9 月 30 日

研究課題名：歯間ブラシの選択サイズと使用時にかかる圧(力)との関係  
解析～ 把持と刷掃動作の機械的計測 ～

研究代表者：宮崎晶子

研究分担者：土田智子，池田裕子，元井志保，**煤賀美緒**，嵐 聖芽，榎  
志佳，清野可那子，両角祐子，高塩智子

一課題あたりの総取得額：30万

- ・研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種類：継続

研究期間：2025年10月1日～2026年9月30日

研究課題名：歯間ブラシ使用時にかかる負荷(力)の分析と評価方法探索  
～ 口腔状態による圧変化と臨床的高価 ～

研究代表者：両角祐子

研究分担者：高塩智子，宮崎晶子，土田智子，池田裕子，元井志保，  
**煤賀美緒**，嵐聖芽，榎志佳，清野可那子

## 2) 科学研究費

- ・令和6年度 基盤研究(C) (一般)

研究代表者：元井志保

研究分担者：小松崎明，**煤賀美緒**

課題名：小児の摂食・嚥下行動における評価法の開発  
—ピエゾ端子法による異常嚥下の把握—

金額：3900千円

研究期間：2024年～2026年.

(代表者育休につき中断中，2026年再開予定)

# 令和7年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和8年3月31日現在)

氏名 関口 博一

学位

1. 研究テーマ
2. 今年度の研究計画
3. 対外的活動（学外講義・学会活動など）
  - 1) 他大学での講義
  - 2) 学会活動（査読、理事、評議員など）
  - 3) 公的な委員会等
4. 研究業績
  - A 著書
  - B 原著
  - C 総説・解説
  - D 報告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀要
  - E 翻訳
  - F 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演
    - 1、小松崎 明，三富 加奈子，関口博一．チタン冠および CAD/CAM 冠の保険請求件数の二次医療圏単位での比較. 日本歯科技工学会第 47 回学術大会，愛知県，2025 年 11 月 23 日～24 日.
  - G 特別講演・シンポジウム等での講演

# 令和7年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和8年3月31日現在)

氏名 嵐 聖芽  
学位 口腔保健学

## 1. 研究テーマ

1) 歯科衛生学生の職業アイデンティティ形成に対する医療職に従事する近親者の有無の影響－第1学年時と第2学年時の比較

Influence of a close relative working in the health professions on the professional identity formation of dental hygiene students:

Insights from the questionnaires in the first- and second-years.

2) 歯科衛生学生における口腔・咽頭吸引実習の教育効果

Effectiveness of oral and pharynx suction training in dental hygiene undergraduate education.

3) 視知覚パターンを活用した教育法の確立 第2報－モニターデモと従来型デモによる教育効果の比較－

Using Patterns of Visual Perception to Establish Pedagogy Second Report  
Comparison of the educational effectiveness of monitor and traditional demonstrations

4) 歯磨剤の塩味によるブラッシングへの影響

The effect of salty toothpaste on brushing

## 2. 今年度の研究計画

1) 歯科衛生学生の職業アイデンティティ形成に対する医療職に従事する近親者の有無の影響－第1学年時と第2学年時の比較

本研究では、医療職に従事する近親者の有無で歯科衛生学生の在学中における職業アイデンティティ形成に違いが生ずるかを検討することを目的とし、2023年度入学した第1学年に行ったアンケートと同じ内容で2024年度第2学年となった学生へアンケートを実施し縦断研究を行った。またアンケート結果から比較した内容をまとめ、2025年度歯科衛生教育学科にてポスター発表を行った。現在、2025年度第3学年となった学生へも同様にアンケートを行い、比較調査を実施予定である。

## 2) 歯科衛生学生における口腔・咽頭吸引実習の教育効果

歯科衛生士は、口腔ケアや摂食嚥下に携わる者として呼吸器のリスク管理が求められており、「歯科診療の補助」として2014年から吸引を実習に取り入れている。学生アンケート結果から、吸引実習の教育効果とより効果的な実施時期を検討した。なお、2025年4月口腔ケア学会においてポスター発表し、現在日本歯科衛生教育学会雑誌に投稿中である。

## 3) 視知覚パターンを活用した教育法の確立 第2報—モニターデモと従来型デモによる教育効果の比較—

本研究では書画カメラで映した手元の操作をモニターで学生全員に説明するデモを見た学生(以下モニター群)と教員が複数名の学生を集めて説明するデモを見た学生(従来群)のデモ観察時の眼球運動の軌跡解析を行い、視知覚パターンの違いを比較分析した。さらにデモと同じ実技試験の正解率と視知覚パターンを比較・分析したところ、教育に寄与できる知見を得たので2025年度歯科衛生教育学会にてポスター発表を行った。

## 4) 歯磨剤の塩味によるブラッシングへの影響

歯磨剤の中でも味と刺激が明瞭で特徴的な塩化ナトリウム配合歯磨剤を利用し、ブラッシングの機械的清掃に及ぼす影響について検証する専攻科生の研究を指導した。研究結果は第57回歯科衛生研究会にて口頭発表を行った。

## 3. 対外的活動(学外講義・学会活動など)

### 1) 他大学・短期大学での講義

該当なし

### 2) 学会活動(監事、理事、評議員、査読他の委員、学会大会長など)

該当なし

### 3) 公的な委員会等(国家試験委員、行政委員、表彰・認定審査委員など)

該当なし

## 4 研究業績

### A 著書(書籍・教科書・翻訳等)

該当なし

### B 原著

該当なし

### C 総説・解説(報告書・ガイドライン等)

該当なし

### D 報告(臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等)・紀要

該当なし

E 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

1. 土田智子, 榎 志佳, 長谷川 優, 大橋 誠, 小林裕子, 松田知子, 清野可那子, 嵐 聖芽, 煤賀美緒, 池田裕子, 宮崎晶子, 浅沼直樹, 歯科衛生学生における口腔・咽頭吸引実習の教育効果, 第 22 回日本口腔ケア学会総会・学術大会, 新潟, 2025 年 4 月 26 日～27 日(ポスター発表)
2. 宮崎晶子, 長谷川 優, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐 聖芽, 榎 志佳, 清野可那子, 池田裕子, 視知覚パターンを活用した教育法の確立 第 2 報 モニターデモと従来型デモによる教育効果の比較, 第 16 回日本歯科衛生教育学会総会・学術大会, 静岡, 2025 年 12 月 7 日 (ポスター発表)
3. 嵐 聖芽, 長谷川 優, 清野可那子, 土田智子, 藤田浩美, 歯科衛生学生の職業アイデンティティ形成に対する医療職に従事する近親者の有無の影響ー第 1 学年時と第 2 学年時の比較ー, 静岡, 2025 年 12 月 6 日～7 日(ポスター発表)
4. 清水 茜, 藤田浩美, 嵐 聖芽, 今井あかね, 歯磨剤の塩味によるブラッシングへの影響, 第 57 回歯科保健研究会, 新潟, 2026 年 2 月 18 日(口頭発表)

F 特別講演・シンポジウム等での講演

該当なし

G その他(学会賞等の受賞、学会認定・資格の取得、科研費ほか競争的研究費等)

・研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種類：継続

研究期間：2025 年 10 月 1 日～2026 年 9 月 30 日

研究課題名：歯間ブラシの選択サイズと使用時にかかる圧(力)との関係  
解析～ 把持と刷掃動作の機械的計測 ～

研究代表者：宮崎晶子

研究分担者：土田智子, 池田裕子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐 聖芽, 榎志佳, 清野可那子, 両角祐子, 高塩智子

一課題あたりの総取得額：30 万

・研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種 類 : 継 続

研究期間 : 2025 年 10 月 1 日～2026 年 9 月 30 日

研究課題名 : 歯間ブラシ使用時にかかる負荷(力)の分析と評価方法探索  
～ 口腔状態による圧変化と臨床的高価 ～

研究代表者 : 両角祐子

研究分担者 : 高塩智子, 宮崎晶子, 土田智子, 池田裕子, 元井志保,  
煤賀美緒, 嵐 聖芽, 榎 志佳, 清野可那子

# 令和7年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和8年3月31日現在)

氏名 榎 志佳  
学位 学士(口腔保健学)

## 1. 研究テーマ

(和文名)

- ・ 歯科衛生学生における口腔・咽頭吸引実習の教育効果に関する研究
- ・ 口唇色が歯冠色の見え方に及ぼす影響に関する研究

(英文名)

- ・ Effectiveness of oral and pharynx suction training in dental hygiene undergraduate education.
- ・ The Influence of Lip Color on the Appearance of Crown Color.

## 2. 今年度の研究計画

- ・ 歯科衛生学生における口腔・咽頭吸引実習の教育効果

口腔・咽頭吸引実習後にアンケートを実施し、アンケート結果から実習の実施時期を検討した。2025年4月口腔ケア学会においてポスター発表し、現在日本歯科衛生教育学会雑誌に投稿中である。

- ・ 口唇色が歯冠色の見え方に及ぼす影響について(専攻研究指導)

口唇色のリップカラーを用いて、歯の色の見え方についてアンケート調査を行い、歯冠色の明るさについて検討する専攻科生の研究を指導した。研究結果は第57回歯科衛生研究会にて口頭発表を行った。(2026年2月専攻科生発表)

## 3. 対外的活動(学外講義・学会活動など)

1) 他大学・短期大学での講義

2) 学会活動(監事、理事、評議員、査読他の委員、学会大会長など)

3) 公的な委員会等(国家試験委員、行政委員、表彰・認定審査委員など)

## 4. 研究業績

A 著書(書籍・教科書・翻訳等)

B 原 著

Seino K, \*Komatsuzaki A, Mitomi K, Susuga M, Ono S, **Enoki Y**. Systemic and Oral Factors Relating to Stress in Later Life: A Study Using the Japanese National Statistics Database. ☆◎◇Clin. Pract. 2025; 15: 226 (17 pages). doi : 10.3390/clinpract15120226.

C 総 説・解 説 (報告書・ガイドライン等)

D 報 告 (臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等)・紀 要

E 学術大会 (口演・ポスター発表)・講演会・研修会・研究会等での講演

- ・土田智子, **榎 志佳**, 長谷川優, 大橋誠, 小林裕子, 松田知子, 清野可那子, 嵐 聖芽, 煤賀美緒, 池田裕子, 宮崎晶子, 浅沼直樹. 歯科衛生士学生における口腔・咽頭吸引実習の教育効果. 第 22 回日本口腔ケア学会学術大会, 新潟市, 2025 年 4 月 26~27 日.
- ・小松崎 明, 小野幸絵, 加藤千景, 三富加奈子, 高塩智子, 井口麻美, 清野可那子, **榎 志佳**, 嵐 聖芽, 土田智子. 全身と口腔症状の関連性について: 2019 年国民生活基礎調査匿名データからの考察. 令和 7 年度日本歯科大学歯学会大会, 東京, 2025 年 6 月 7 日
- ・宮崎 晶子、長谷川 優、土田 智子、元井 志保、煤賀 美緒、嵐 聖芽、**榎 志佳**、清野可那子、池田 裕子: 視知覚パターンを活用した教育法の確立 第 2 報 モニターデモと従来型デモによる教育効果の比較: 令和 7 年度日本歯科衛生教育学会、静岡県、2025 年 12 月 6 日、7 日
- ・煤賀美緒, 長谷川優, **榎 志佳**, 宮崎晶子, 池田裕子. 就職先として県内を希望する学生と県外を希望する学生の意識の違い. 第 16 回日本歯科衛生教育学会学術大会, 静岡市, 2025 年 12 月 5 日~12 月 6 日.
- ・清水莉子, 加藤千景, 池田裕子, **榎 志佳**, 今井あかね: 口唇色が歯冠色の見え方に及ぼす影響, 第 57 回歯科保健研究会, 新潟県, 2026 年 2 月 18 日.

F 特別講演・シンポジウム等での講演

G その他 (学会賞等の受賞、学会認定・資格の取得、科研費ほか競争的研究費等)

1) 研究費の名称: デンタルプロ株式会社

種 類 : 継 続

研究期間 : 2025 年 10 月 1 日～2026 年 9 月 30 日

研究課題名 : 歯間ブラシの選択サイズと使用時にかかる圧(力)との関係解析  
～ 把持と刷掃動作の機械的計測 ～

研究代表者 : 宮崎晶子

研究分担者 : 土田智子, 池田裕子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐 聖芽, 榎 志佳,  
清野可那子, 両角祐子, 高塩智子

一課題あたりの総取得額 : 30 万

2) 研究費の名称 : デンタルプロ株式会社

種 類 : 継 続

研究期間 : 2025 年 10 月 1 日～2026 年 9 月 30 日

研究課題名 : 歯間ブラシ使用時にかかる負荷(力)の分析と評価方法探索  
～ 口腔状態による圧変化と臨床的高価 ～

研究代表者 : 両角祐子

研究分担者 : 高塩智子, 宮崎晶子, 土田智子, 池田裕子, 元井志保, 煤賀美緒,  
嵐聖芽, 榎志佳, 清野可那子

# 令和7年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和8年3月31日現在)

氏名 清野 可那子  
学位 学士(口腔保健学)

## 1. 研究テーマ

・高齢期のストレスに関連する全身のおよび口腔的要因：日本国民健康・栄養調査データベースを用いた研究

Systemic and Oral Factors Relating to Stress in Later Life: A Study Using the Japanese National Statistics Database

・ストレスに関する口腔および全身的要因の探索的研究—2019年度国民生活基礎調査匿名データを用いた分析—(専攻研究指導)

An Exploratory Study on Oral and Systemic Factors Related to Stress: An Analysis Using Anonymized Data from the 2019 National Survey of Living Conditions

## 2. 今年度の研究計画

・高齢期のストレスに関連する全身のおよび口腔的要因：日本国民健康・栄養調査データベースを用いた研究

大規模な日本の全国統計データベースを用いて、心理的ストレスと主観的な症状および受診を要する状態との関連性を明らかにし、**Clinical and Practice** に投稿した。(2025年12月1日投稿)

・ストレスに関する口腔および全身的要因の探索的研究—2019年度国民生活基礎調査匿名データを用いた分析—(専攻研究指導)

ストレスの影響と自覚症状をはじめとした生活環境との関連性を検討し、ストレスが健康に及ぼす影響を明らかにし、ストレスと多因子の関連性を検討する専攻科生の研究を指導した。第57回歯科保健研究会にて発表を行った。(2026年2月18日専攻科生発表)

## 3. 対外的活動(学外講義・学会活動など)

### 1) 他大学・短期大学での講義

- ・長岡市新組小学校
- ・新潟市立木山小学校

- ・新潟市立日和山小学校
- ・新潟市立東特別支援学校

2) 学会活動（監事、理事、評議員、査読他の委員、学会大会長など）

3) 公的な委員会等（国家試験委員、行政委員、表彰・認定審査委員など）

#### 4 研究業績

A 著 書（書籍・教科書・翻訳等）

B 原 著

\***Seino K**, Komatsuzaki A, Mitomi K, Susuga M, Ono S, Enoki Y. Systemic and Oral Factors Relating to Stress in Later Life: A Study Using the Japanese National Statistics Database. ☆◎◇Clin. Pract. 2025; 15: 226 (17 pages). doi : 10.3390/clinpract15120226.

C 総 説・解 説（報告書・ガイドライン等）

D 報 告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀 要

E 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

- ・土田智子，榎志佳，長谷川優，大橋誠，小林裕子，松田知子，**清野可那子**，嵐聖芽，煤賀美緒，池田裕子，宮崎晶子，浅沼直樹. 歯科衛生士学生における口腔・咽頭吸引実習の教育効果. 第 22 回日本口腔ケア学会，新潟，2025 年 4 月 26～27 日
- ・小松崎 明，小野幸絵，加藤千景，三富加奈子，高塩智子，井口麻美，**清野可那子**，榎 志佳，嵐 聖芽，土田智子. 全身と口腔症状の関連性について：2019 年国民生活基礎調査匿名データからの考察. 令和 7 年度日本歯科大学歯学会大会，東京，2025 年 6 月 7 日
  - ・宮崎 晶子、長谷川 優、土田 智子、元井 志保、煤賀 美緒、嵐 聖芽、榎 志佳、**清野可那子**、池田 裕子：視知覚パターンを活用した教育法の確立 第 2 報 モニターデモと従来型デモによる教育効果の比較: 令和 7 年度日本歯科衛生教育学会、静岡県、2025 年 12 月 6 日、7 日
- ・齋藤諭里，小松崎 明，**清野可那子**. ストレスに関連する口腔および全身的要因の探索的研究 -2019 年度国民生活基礎調査匿名データを用いた分析-. 第 57 回歯科保健研究会，新潟市，2026 年 2 月 18 日

F 特別講演・シンポジウム等での講演

G その他（学会賞等の受賞、学会認定・資格の取得、科研費ほか競争的研究費等）

・研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種類：継続

研究期間：2025年10月1日～2026年9月30日

研究課題名：歯間ブラシの選択サイズと使用時にかかる圧(力)との関係  
解析～ 把持と刷掃動作の機械的計測 ～

研究代表者：宮崎晶子

研究分担者：土田智子，池田裕子，元井志保，煤賀美緒，嵐 聖芽，榎  
志佳，清野可那子，両角祐子，高塩智子

一課題あたりの総取得額：30万

・研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種類：継続

研究期間：2025年10月1日～2026年9月30日

研究課題名：歯間ブラシ使用時にかかる負荷(力)の分析と評価方法探索  
～ 口腔状態による圧変化と臨床的高価 ～

研究代表者：両角祐子

研究分担者：高塩智子，宮崎晶子，土田智子，池田裕子，元井志保，  
煤賀美緒，嵐聖芽，榎志佳，清野可那子

# 令和7年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和8年3月31日現在)

氏 名 三富 加奈子  
学 位

## 1. 研究テーマ

## 2. 今年度の研究計画

## 3. 対外的活動（学外講義・学会活動など）

### 1) 他大学での講義

### 2) 学会活動（査読、理事、評議員など）

### 3) 公的な委員会等

## 4 研究業績

### A 著 書

### B 原 著

- 1、Seino K, Komatsuzaki A, Mitomi K, Susuga M, Ono S, Enoki Y, Iguchi A, Fujita H, Komatsuzaki N. Systemic and Oral Factors Relating to Stress in Later Life: A Study Using the Japanese National Statistics Database. ☆◎ Clin Pract. 2025; 15(12): 226. doi: 10.3390/clinpract15120226.

### C 総 説・解 説

### D 報 告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀 要

### E 翻 訳

### F 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

- 1、小松崎 明, 三富 加奈子, 関口博一. チタン冠およびCAD/CAM冠の保険請求件数の二次医療圏単位での比較. 日本歯科技工学会第47回学術大会,

愛知県, 2025年11月23日～24日.

- 2、小松崎 明,小野 幸絵,加藤 千景,三富 加奈子,高塩 智子,井口 麻美,  
清野 可奈子,榎 志佳,嵐 聖芽,土田 智子. 全身と口腔症状の関連性について:2019年国民生活基礎調査匿名データからの考察.令和7年度歯学会大会,東京都,2025年6月7日

## G 特別講演・シンポジウム等での講演